

夢を応援する

校長 村上 俊二

神石小学校では、作文発表の時間があります。これは、先生が順に担当して、一つのテーマを与えて全員が作文を書き、給食時間にみんなの前で一日一人ずつ順に発表し評価するというものです。

今回は私が担当で、テーマは「僕の夢私の夢」です。将来こういうことをやりたい。こんな人になりたい。こんなところに行きたい……。大きな夢、小さな夢、子どもたちの夢は無限です。

夢というのは木の根っこのようなものです。その夢自体がゴールなのではなく「根っこ」なのです。夢があることで「幹」が成長していきます。人として成長していくのです。途中で挫折することもあるかもしれませんが、「根っこ」がしっかりしていれば、そこからまた「幹」を太らせて頑張れるのです。

夢というのはその子にとって大切な宝物です。叶おうが叶うまいがその子の夢を否定せず、みんなで応援できる大人でありたいと思います。そして、大人たち自身も、何かにチャレンジする姿を見せることも大事だと思います。